

町長議案提案説明

町長 平成22年第4回定例町議会の開催をお願いいたしましたところ、ご参集いただきまして、有難うございます。屋上、屋を架すようですけれども、大久保議員のこの度のご逝去に対しまして、永年の議会議員としての活躍、或いは、功績に対しまして、改めて敬意を表したいと思いますし、ご冥福をお祈りいたしたいと思います。いつものように、一応、総括を申し上げまして提案説明に入りたいと思います。老子の言葉の81章ですが、「天の道は利して害せず人の道は為して争わず」老子の主張の総括のようなくだりなのですが、天何をか言うや四時行われ百物生ず天何をか言うやというのがその後続いております。天はどんな働きをしても自己主張もなく、また、功績を誇ることはない。それぞれの責任を果して、前向きに取り組む姿勢が人間社会に必要ではないかというふうな論しの言葉であります。ひるがえって不肖私がこの立場にあって、この老子の言葉を改めて噛み締めているところでございます。ことに当たって謙虚であれということ、なければならぬということと、また、ことに当たって誠心誠意でなければならぬということでもあります。さて、足元をながむるに世界経済の不況と景気の低迷、また、地方交付金の制限、色々意見が分かれるところではありますが、三位一体の改革の歪み、誠に地方自治にとっては、厳しい現実でもあります。克てて加えて合併破綻によりまして色々な流れが出てきておるところではありますが、かつて12月1日にありました全国町村長会で東京大学の大森彌教授からの講演がありました。合併によって、図体の大きい町村と小さい町村ができた。それがアメとムチというのがご存知のことではありますが、図体が大きいのは良いのではないということ。小さい町村、もっと胸を張りなさいというふうな発破を掛けられ激励されております。正しく私どもとしては、意を得たりということでありました。さて、現今の町政の概括を3点ほど申し上げます。1つは、度々ご意見を頂戴し、ご審議いただいております。学校統合と小中一貫教育に向けての校舎建築であります。ほぼ予定通りには進んでおりますが、安全で安心な丘陵地帯への四国一の教育環境造りができればと念じております。尚、給食センターにつきましては、財政的な様々な配慮から幾分時期がずれるのを得ないというふうなのが現実であります。二つ目、鬼ヶ岩屋温泉につきましては、誠に残念ですが泉質の不備から従来どおりの経営が不可能になってきております。取り合えず、関連条例を改定いたすことをお願いしたところでもありますけれども、また、指定管理者との協議事項等々、まだ未解決な部分も幾らかあります。今後の運営方法とか経営方法についても賢明なあり様について模索し広くご意見を賜わりたいと存じております。具体的な件につきましては、担当者から詳しく申します。3つ目、お手元に資料が届いておると思いますが、第8回全国ほんもの体験フォーラムイン徳島というのが、来年3月18、19、

20日と3日間行われる予定です。第1日目がアスティ徳島で全体会議、2,500から3,000というふうな参加者の予定をしております。19日、20日は、西阿波圏と南阿波よくばり体験の西と南に分かれまして、7,800人、見通しですけれども人々が訪れる予定でございます。町を上げて歓迎し是非成功いたしたいと思っております。先日、12月3日にNHKラジオの番組、民謡をたずねての収録がありました。民謡界の大御所、大塚文雄さんの感想でもあります。人口5千の漁師町というので、会場を小学校か中学校の体育館と思っておりましたが、特に女性達は3回ほど着物を着替えるということで、教室の寒いところで着替えるには、そのつもりでというふうな最初は連絡もあったようです。来てみてびっくり控室もあるし暖房も入るし、音響効果も良く地方巡業では最高でしたという感想を述べられております。三味線担当の方も最後は気分が良くて手を振ってしまいましたと言われておりました。お世辞、リップサービスを割り引いたとしても文化度の高い町として、お誉めをいただきました。小島章司さんの出身地だそうですねというふうなこと、或いは、川の端の景色、町並みも綺麗で関心しました。今度プライベートで夏是非来たいものだというふうな感想を述べられております。日頃見慣れた景色、風景ですけれども、改めて指摘されますと嬉しいやらなるほどというふうなことの実感でございます。先日の町民アンケートにも牟岐町をとて愛着を感じている41.7%、どちらかと言うと愛着を感じている34.6%、2つ合わせますと76.3%という町民のアンケートで、この数字を見てふるさとむぎの将来はともかく皆さんがそういうふうな感じで見てくれていることに対しては、ひと安堵と言いますか、そういうふうな感想を持ちました。さて、本日の議案提案の説明に入りたいと思います。本定例町議会に提出の案件は、議案6件でございます。議案の内訳は、指定管理者の指定2件、町道の認定1件、補正予算2件、人事案件1件でございます。まず議案第63号、大戸漁村センターの指定管理者の指定について。議案第64号、出羽島漁村センターの指定管理者の指定について。この2議案は、来年3月末で期限を迎える2つの漁村センターの指定管理者を平成28年3月末日までに5年間、引き続き牟岐町漁協組合長とするものです。議案第65号、町道の認定。市宇が丘線を町道に新たに認定するもので、起点終点は川長字大坪100番2地内です。この道路は、中学校の敷地内の道路ですが、小学校建設のため、町道認定が必要となりました。議案第66号、平成22年度牟岐町一般会計補正予算。今回の補正の総額は、30,646千円となっています。人件費については、人事院勧告に伴う職員の給与改定や不用額の調整により、約18,000千円の減額となりますが、退職手当組合特別負担金10,000千円、超過勤務手当3,000千円などが増額となり、最終的には約5,000千円の減額となります。人件費以外の歳出の主なものを挙げますと、2款、総務費の総務管理

費で地域バス路線運行補助金を計上しています。3款、民生費の社会福祉費で障害者自立支援関係扶助費、デイサービスセンター天井修繕費などを計上。5款、農林水産業費の農業費で有害鳥獣捕獲奨励金の追加でございます。6款、商工費で牟岐みなと節歌碑補助金、温泉指定管理業務期間短縮による損害、損失補償金など計上。7款、土木費の道路橋梁費で道路補修工事費、法定外公共物管理費で市宇谷法定外補修工事などの追加。8款、消防費で出初式の経費などの追加。9款、教育費の学校統合事業費でグラウンド設備設計業務、校舎建設敷地造成工事などの追加と土地購入費、補償費の減額となっています。歳入では、普通交付税、国庫支出金、県支出金を増額し、町債を減額しています。歳入歳出、30,646千円を追加し、予算総額を2,828,827千円とする22年度一般会計補正予算です。議案第67号、平成22年度牟岐町国民健康保険特別会計補正予算。今回の補正は、歳入歳出968千円を追加し、予算総額を931,758千円とするものです。歳出は、給与改定による人件費の減額とレセプト電子化に係るシステム改修費の増額、保険給付費で退職者の施術療養費の増額などです。歳入は国庫支出金、療養給付費等交付金などです。議案第68号、人権擁護委員の推薦。来年3月31日に任期満了となる委員、大田洋之氏の再任の議案です。任期は3年間で平成26年3月31日までとなります。以上、提案説明を終わりますけれども、詳細については、関係課長などから説明をさせますので、よろしくご審議のほど、お願いいたします。以上でございます。